

EUROエクイティ・ レンデメント・ファンド (円ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：Eエクレン無

2020年8月21日から2021年2月3日まで

第11期 償還日：2021年2月3日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、欧州の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年2月3日に繰上償還となりました。皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	10,704円75銭
純資産総額(償還日)	344百万円
騰落率(当期)	+8.2%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年8月21日から2021年2月3日まで）

基準価額等の推移



期首	9,894円
----	--------

償還日	10,704円75銭
-----	------------

騰落率	+8.2%
-----	-------

基準価額の主な変動要因（2020年8月21日から2021年2月3日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として欧州の取引所に上場している株式（預託証券(DR)を含みます。)等に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。なお、マザーファンドの運用指図に関する権限の一部をユニオン バンカール プリヴェ ユービーピー エスエー ロンドン支店に委託しています。

上昇要因

- 期を通してみれば、世界の中央銀行による金融緩和が継続したことや、新型コロナウイルスワクチン普及への期待感などから、欧州株式市場が堅調な展開となったこと
- ユーロ、英ポンド、スイスフランが円に対して上昇したこと

1万口当たりの費用明細（2020年8月21日から2021年2月3日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	84円	0.830%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,059円です。
（投信会社）	(43)	(0.428)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(38)	(0.377)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.025)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.035	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(4)	(0.035)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	7	0.069	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.039)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(－)	(－)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(3)	(0.030)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	95	0.934	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

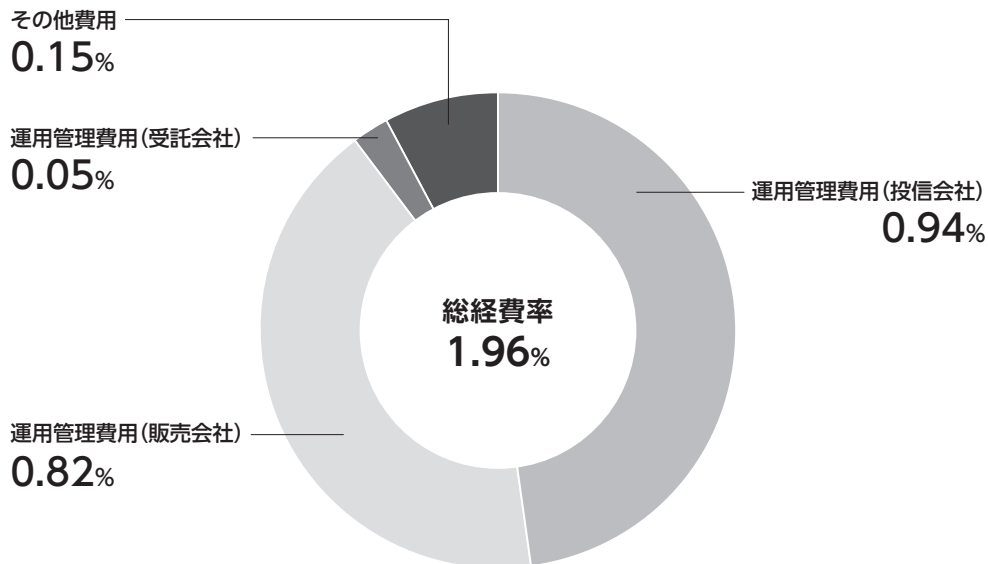
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

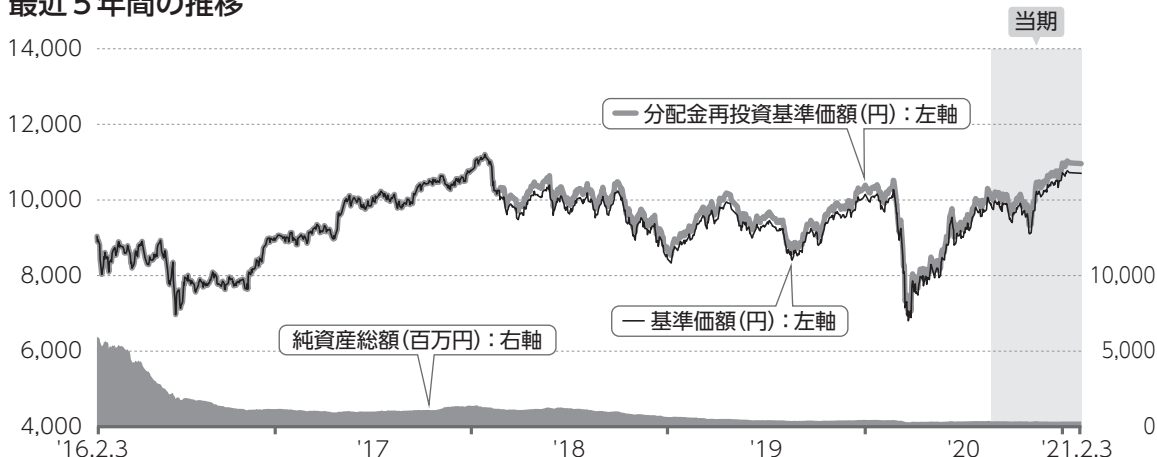
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.96%です。

最近5年間の基準価額等の推移について（2016年2月3日から2021年2月3日まで）

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2016年2月3日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

最近5年間の年間騰落率

		2015.8.31	2016.8.22	2017.8.21	2018.8.20	2019.8.20	2020.8.20	2021.2.3
		設定日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日	償還日
基準価額	(円)	10,000	7,746	9,788	9,610	8,658	9,894	10,704.75
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	240	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-22.5	26.4	0.5	-9.9	14.3	8.2
純資産総額	(百万円)	4,859	1,699	1,038	1,030	392	362	344

※2021年2月3日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、2020年8月20日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2020年8月21日から2021年2月3日まで)

当期の欧州株式市場は上昇しました。為替市場ではユーロ、英ポンド、スイスフランは円に対して上昇しました。

欧州株式市場

期初から10月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い再びロックダウン(都市封鎖)が実施されたことや、米国大統領選挙を巡る政治的不透明感などを背景に投資家のリスク回避の動きが強まり、下落しました。11月から償還日にかけては、米国大統領選を無事終えたことや、新型コロナワクチン普及への期待感などから投資家のリスク選好姿勢が強まり、欧州株式市場は上昇しました。

当期の市場の動きをMSCIヨーロッパ指数(ユーロベース)で見ると、期首に比べて9.6%上昇しました。

為替市場

当期のユーロ・円は、期を通じてみると上昇しました。欧州で新型コロナウイルスの感染が再拡大したことに伴いロックダウンが再導入されたことなどを背景に、期初より10月下旬にかけて円高基調で推移しました。

11月から償還日にかけては、新型コロナウイルスのワクチン普及に対する期待感や欧米の株式市場が上昇し投資家のリスク選好の動きが強まったことなどから、ユーロが上昇しました。

スイスフラン・円は、期を通じてみると上昇しました。概ねユーロ・円に追随する動きとなりました。

英ポンド・円は、期を通じてみると上昇しました。期初から9月中旬にかけては「合意なきEU離脱」の懸念が浮上し、英ポンド・円は下落しました。9月下旬から償還日にかけては、新型コロナウイルスのワクチン普及に対する期待感や、欧米の株式市場が上昇し投資家のリスク選好の動きが強まったことなどから、英ポンドは上昇しました。

当期のユーロ・円は、期首125円67銭から償還日126円46銭と0円79銭のユーロ高・円安、スイスフラン・円は、期首115円96銭から償還日116円98銭と1円02銭のスイスフラン高・円安、英ポンド・円は、期首139円05銭から償還日143円49銭と4円44銭の英ポンド高・円安となりました。

ポートフォリオについて (2020年8月21日から2021年2月3日まで)

当ファンド

期を通じて「EUROエクイティ・レンデメント・マザーファンド」を高位に組み入れました。

なお、マザーファンドは2021年2月2日に償還を迎えました。

EUROエクイティ・レンデメント・マザーファンド

●国別配分

配当利回りの水準や配当余力に着目するとともに、インパクト投資(従来の投資収益の

獲得に加え、投資を通じて社会的課題の解決を目指す投資)関連の銘柄を買い増す機会を探る中、イギリス、スイス、スウェーデン、ドイツなどに多く配分しました。

●業種配分

ボトムアップの銘柄選択により、素材、保険、資本財、医薬品・バイオテクノロジーなどに多く配分しました。

償還に向けて、1月上旬に保有銘柄を全売却しました。

ベンチマークとの差異について (2020年8月21日から2021年2月3日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について (2020年8月21日から2021年2月3日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

繰上償還について

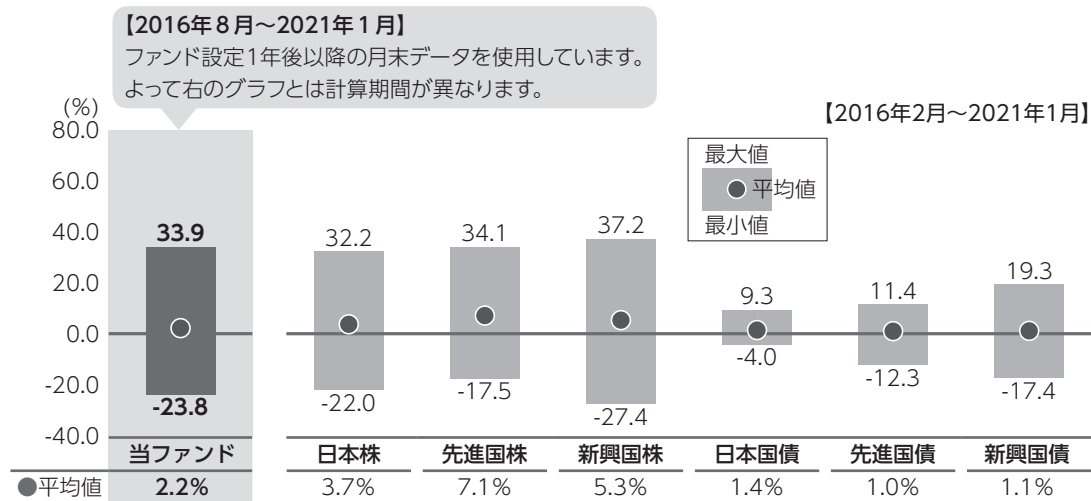
当ファンドは、信託約款の繰上償還規定の「受益権の口数が10億口を下回る」状態が継続していることから、運用の基本方針に従った運用を続けることが困難となっており、繰上償還することが受益者の皆さまに有利であるとの判断から、繰上償還の手続きを実施させていただきました。

法令および信託約款の規定に従い、2020年12月22日に書面決議を行い、2021年2月3日をもって繰上償還となりました。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年8月31日から2021年2月3日(当初、2025年8月20日)まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、欧州の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 EUROエクイティ・レンデメント・マザーファンド 欧州の取引所に上場している株式等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として欧州の取引所に上場している株式(預託証書(DR)を含みます。)等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■実際の運用は、マザーファンドを通じて行います。マザーファンドの運用指図に関する権限の一部をユニオン バンカール プリヴェ ユービーピー エスエー ロンドン支店に委託します。 ■配当利回りの水準や配当余力等に着目し、厳選した銘柄に投資します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <p>EUROエクイティ・レンデメント・マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として毎年2月および8月の20日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

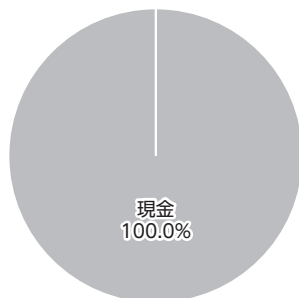
6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2021年2月3日)

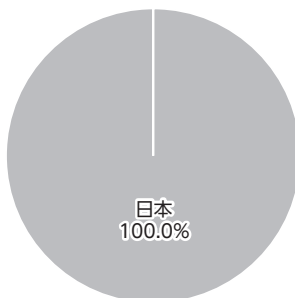
組入れファンド等

※償還日現在の組入れはありません。

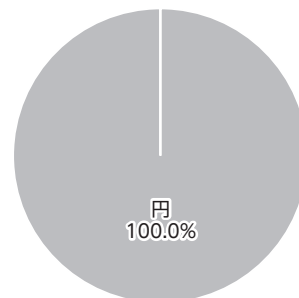
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	償還日
純資産総額 (円)	344,515,391
受益権総口数 (口)	321,834,049
1万口当たり基準価額 (円)	10,704.75

※当期における、追加設定元本額は8,052,432円、解約元本額は52,789,751円です。

7 償還を迎えて

2015年8月31日に設定いたしました当ファンドは、2021年2月3日に償還となりました。

皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。